

津田塾大学英語英文学科
翻訳・通訳プログラム発足 15 周年記念企画
特別対談

言葉が海を渡るとき

翻訳とは何か

2020 年 11 月 13 日 (金) 5 限
16 時 20 分～17 時 50 分 (Zoom 使用)

伊藤 比呂美



1955 年、東京都生まれ。女性性、性と死、植物などをテーマに、エッセイと小説、語り、詩を融合した文学の世界を作る。長年住んだ米国カリフォルニアから 2018 年に日本に帰り、早稲田大学で教えている。主著に『ラニーニャ』(1999 年、新潮社)、『河原荒草』(2005、思潮社)、『とげ抜き新巢鴨地蔵縁起』(2007、講談社)、『読み解き「般若心経」』(2010、朝日新聞出版)、『女の一生』(2014、岩波書店)、他多数。主な訳書には『ビリー・ジョーの大地』(2001)と『11 の声』(2003) (共にカレン・ヘス著、理論社)、『新説説経節』(2015) など。最新作は『道行きや』(2020、新潮社)。

×



佐藤 = ロスベアグ・ナナ

2007 年、立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程修了(学術博士)。北京清華大学外国語学部講師、立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラル研究員、イーストアングリア大学 University of East Anglia (UK) 言語コミュニケーション学科講師を経て、2014 年 9 月よりロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS University of London) 言語文化学部准教授。現在、言語文化学部学部長、翻訳研究所所長 Chair of the SOAS Centre for Translation Studies を務める。2008-10 年ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ University College London (UCL) 異文化間研究所客員研究員・講師、2010 年 Translation Research Summer School 教員スタッフ。2015 年より International Association for Translation and Intercultural Studies (IATIS) 理事会メンバー、2018 年より同学会の Training Committee 長を務めている。著書に『学問としての翻訳』(みすず、2020) 他。編著に『トランスレーション・スタディーズ』(みすず書房、2011)、*Translation and Translation Studies in the Japanese Context* (若林ジュディと共編、Bloomsbury Publishing, 2012)、*Diverse Voices in Translation Studies in East Asia* (内山明子と共編、Peter Lang, 2019)、『翻訳と文学』(みすず、2021) 他。

<お申し込み>

右下の QR コードまたは下記 URL の申込フォームよりお申込みください

<https://forms.gle/JSXVKuCU9DsWLoBm7> (要事前申込)

申込期限は 11 月 11 日 (水) まで

*Zoom で開催します(定員 200 名)。申込受付後、URL をお送りします。

*2020 年度英語英文学科翻訳・通訳プログラム履修生は必修ですので、必ず出席してください。

